シーアンカーII　M
取扱説明書

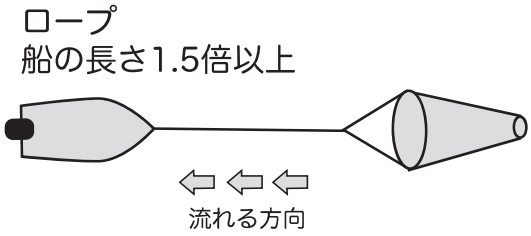
PLASTIMO のシーアンカー M サイズは最大 25-28ft 位までの和船、センターコンソール、フィッシング艇用です。クルーザータイプ、FB 艇等大きなキャビンを持つ船では、このシーアンカーでは効果は期待できません。また次の様な海況下でも効果は期待できません（風の強い場合、潮が非常に早い場合、波が高い場合）。逆に言えば小型艇で上記の様な海況では釣りはできないと言う考えのもとに設計されています。したがって天候、海況の変化に充分注意をしてご使用下さい。
また次の様な場合も効果が期待できませんのでご注意下さい。風や潮の流れが全くない場合や風が舞っている場合。

⚠ 注意
シーアンカーを投入する場合は船の流れる方向に船や岸、網、浅瀬等がないことを充分確認してから投入してください。
また航路内や船が頻繁に通る所では使用しないでください。

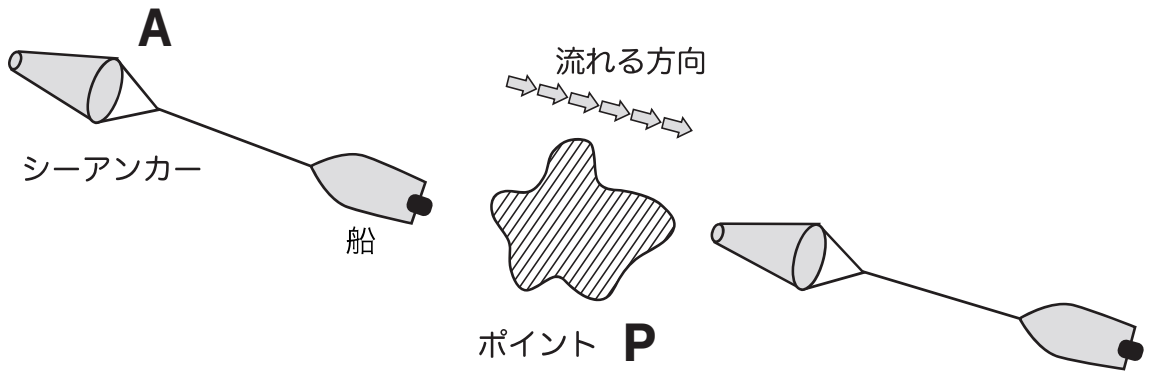
使用方法　ここでは、実践的な使用方法をご説明いたします。

① 船が流される方向を知る

まずシーアンカーを投入した場合に船がどの方向に流されるかを知る事が第一です。
ベテランの遊漁船等の船長であれば海面を見ることや船を止める事で潮の流れている方向を判断できますが、素人の場合、潮の流れを把握するのは難しい様に思われます。
また潮と風でどの方向に船が流されるのか推測するのは困難です。従ってまずポイントの近くで実際にシーアンカーを投入し、陸上の建物や海上のブイ等で山たてをして船の流れる方向を知るか、コンパスや GPS 等で流れる方向を把握してください。
従来のシーアンカーでは投入や回収が非常に大変な為、この作業はお勧めできませんでしたが、このシーアンカーではそれほど投入、回収の作業は手間ではありません。より多くの釣果を得る為に、まず船の流される方向を知ることです。但し何回も経験を積み、船の流される方向が推測できる様になればこの作業は必要ありません。



② 船が流される方向を知る



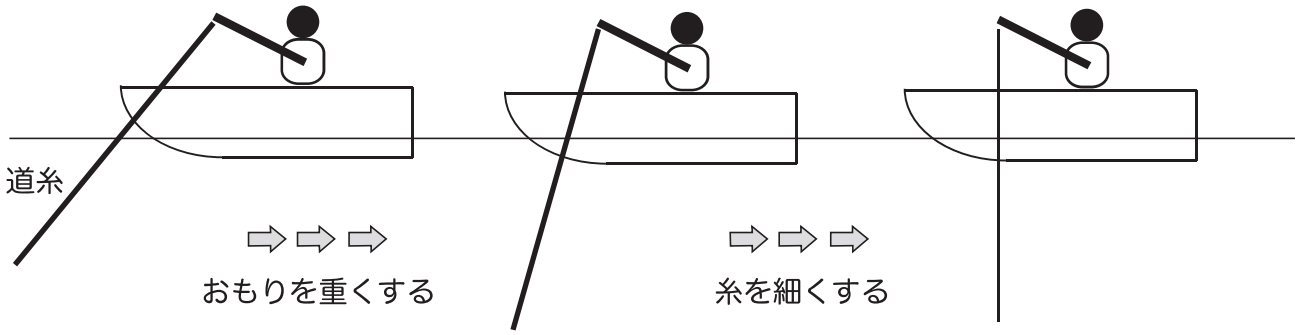
投入は 1. により船の流される方向を把握した上で、魚探等で根や魚のいる位置（ポイントＰ）を確認します。そして下の図の様に、Ａの地点で投入します。
よくシーアンカーやスパンカーによる流し釣りで、ポイントの上に止まっている事が出来ると誤解されている方がいますが、流し釣りと言うように完全にポイント上に止まっている事はできません。あくまでも流して釣ることです。
流して釣ると言うことはアンカーが打てない様な水深の深い場所での釣りが可能になると同時に、潮の流れとある程度同調して船が流れる為、海底に対して糸が立つという利点また風に船が立つ為に船の横揺れが抑えられます。
ポイントＰにいる魚を釣りたい場合、Ｐの真上でシーアンカーを投入したのではポイントの上を釣る事はできません。Ａの地点で投入して、船を流しながらＡからＢをポイントの上を通過しながら釣ることです。
またポイントをはずれたＢの地点まで船が流されたらシーアンカーを引き上げ、再度Ａの地点でシーアンカーを投入します。
ただし、潮や風は時間により変化しますので、釣りをしながら潮や風向きを絶えず把握しておくことが重要です。

③ 釣り

1、2 の手順でシーアンカーを投入し、シーアンカーのロープが張ったら仕掛けを投入します。仕掛けを投入して根魚を釣る場合であれば、おもり着底後に道糸を張ると、潮の流れと船の流れにより多少道糸が斜めになると思いますが、このシーアンカーでは船の流れる速度を調節はできませんので、出来るだけ垂直に糸をたてたい場合には、おもりを重くしてください。また近年流行の PE ラインでは、釣糸の強度が従来のものと較べ数倍もあるので細い糸で大物を釣ることが可能になりました。このことは小型ボートの流し釣りでは非常に重要で、潮による釣糸の水の抵抗が軽減される為に太い糸より道糸がより垂直に立ちます。したがって極力細い道糸を使用することをお勧めいたします。ちなみに東京湾のスズキ釣りでは PE ラインの 0.8 号（強度 4Kg）で 60 ～ 80cm の大物を釣っています。
但し、このことは釣糸だけでなく竿やリールのドラッグ性能の進歩により可能となったものです。

ヒント

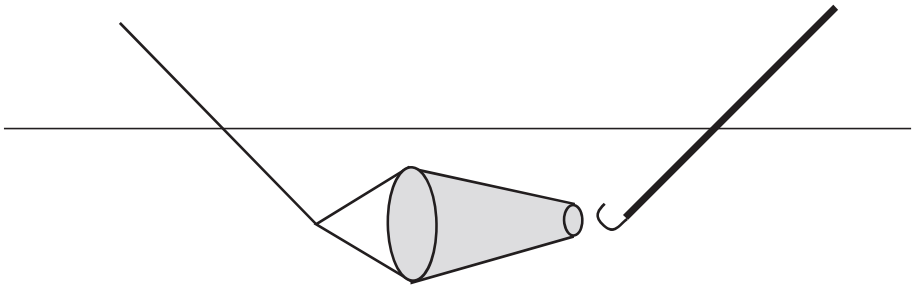
数人で小型ボートでの流し釣りをする場合、必ず道糸の太さとおもりの重さ、またカゴ釣りをする場合はカゴの種類大きさを統一しましょう。
潮が多少早い場合に隣の人とのお祭りを避ける事が出来ます。
また潮が早い場合や 2 枚潮の様な時は、仕掛けの投入回収を同時に行ってください。



④ 広範囲の流し釣り

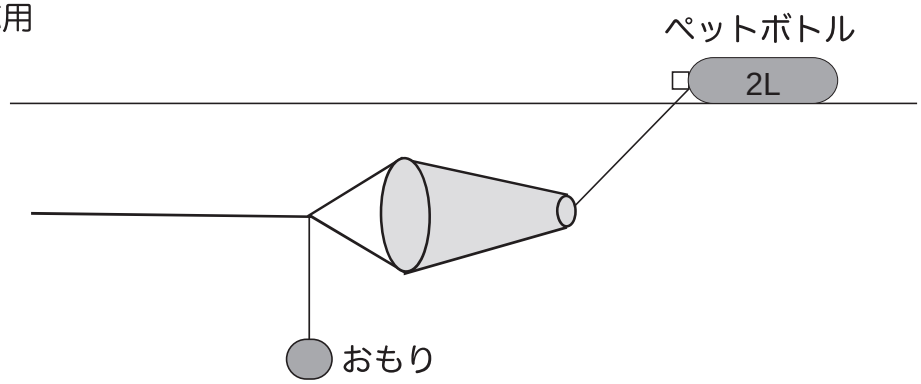
上記の 1、2、3 では、ポイントの上の流し方を説明しましたが、浅場のキス釣り、ヒラメ、マゴチ、カレイ等の場合でもシーアンカーを使う事により広範囲にポイントを探ることができます。アンカーによるかかり釣りでは船の回りだけしか探れませんが、シーアンカーを使えば広範囲に探れ、魚が釣れた場所でアンカーを打てばより効率的な釣りができます

⑤ 回収



シーアンカーの回収はロープを手繰り、シーアンカーが船首船下まで来たらお尻をボートフック等で引っかけて回収します。もし、２人で行う場合は、１人が微速前進しながらもう１人が船首でロープを手繰ってください。

⑥ 応用



もし、シーアンカーの水深を一定に保ちたい場合は、一定に保ちたい水深の長さのロープ（6mm 位）をシーアンカーのお尻に結びペットボトル２Ｌ等を結んでください。
またシーアンカーの沈みが悪い場合は、上図の様に状況に応じておもりを結んで下さい。

シーアンカーのお尻にファスナーが付いています。
このファスナーを開ければ流れる速度を速くする事ができます。

⑦ 保管

使用後はすぐに水洗いし、塩抜きして陰干し後直射日光のあたらない所に保管して下さい。また特にお尻のファスナー部分には使用後 CRC 等を塗布してください。塩抜きを完全にしないとファスナーが動かなくなったり、破損する恐れがあります。

株式会社カズ・マリンプロダクツ
〒242-0024 神奈川県大和市福田 5682-1　TEL:046-268-4101 FAX:046-268-4351
URL: http://www.kazmarine.co.jp　Mail: info@kazmarine.co.jp